

知る 広がる 好きになる

たかつき DAYS

城下町謎解き
古地図めぐり



令和元年

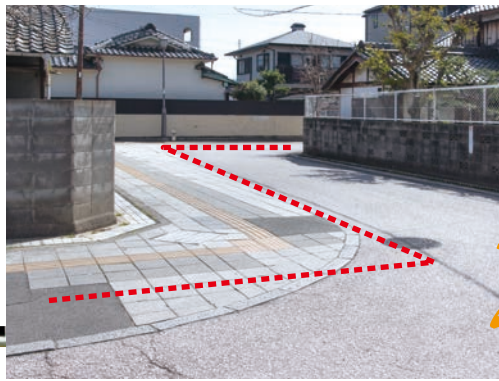
6

No.1375

カクカクの道の理由とは？

【しろあと歴史館北方の道】

しろあと歴史館から、少しだけ北に行くと、かぎの手のように何度も直角に曲がる道路がある。これは城の三の丸の形に沿った外堀沿いの道の名残。道を曲げるのは、防御力を高めるため。まさに城下町ならではの道！



2

坂道に残る痕跡とは？

【しろあと歴史館前の道】

何の変哲もない道にも見えるが、写真奥(西側)の車のタイヤが隠れていることに注目。実は、西側には城の内堀、写真手前の東側には外堀が掘られていたため、その間の部分(三の丸の一部)だけが盛り上がっている。堀跡の高低差が今も残っているのだ



1

色が薄くなっているあたりが外堀跡

LET'S GO!



昔の姿を想像すれば

高槻はもっとおもしろい

歴史散歩が今アツイ!



3

段差が続くのはなぜ？

城跡公園の東側に沿って続く土手のような段差。なんと、これも外堀の名残だ。城下町エリアでは他にもさまざまな場所に段差が。この段差も、かつてこのまちに城があったことを示す、歴史への入口かもしれない

よく通る道だね!



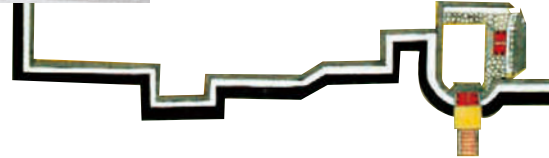
4



カーブした道こそ高槻らしさ？

【城跡公園南方の道】

城跡公園の南側では、うねうねとした郭の跡に沿ってまちなみが形成されている。これもかつては外堀沿いの道。城があったまちらしい風景だ



よく見ると不思議なかたち…



いろいろな楽しみ方がありますよ

城跡公園

高槻城の三の丸跡にある、散歩や休憩に最適な公園。城の堀や石垣を模した一画や、城下町の商家を移築復元した歴史民俗資料館も

●高槻市城内町、野見町地内

まちあるきのコツ

- 古地図を見よう
昔の地図(絵図)と現在のまちを見比べると思わぬ発見も多い。
- 曲がった道や細い道、高低差に注目
古い石造物や歴史の痕跡が残っていることもしばしば。
- 昔の景色を想像してみよう
昔の人はここで何を目にしてたのか、想像するだけでもおもしろい。
- 自分なりの視点で巡ってみよう
何といっても自分なりの目線で楽しく散歩するのが一番。



しろあと歴史館の学芸員さん

城下町の痕跡はどこにある？

古い地図を読み解き、まちを探索する歴史散歩が人気だ。一枚の古地図を通して眺めれば、見慣れたまちも姿を変え、新しい魅力を発見できるのがおもしろいという。

実は、高槻はそんな歴史散歩にぴったりのまち。阪急高槻市駅から徒歩圏内の「城跡公園」周辺は、その名の通り、戦国時代以降、明治維新まで存在した北摂唯一の城郭・高槻城の跡

地。周囲には城下町も広がっていた。「でも、もう城はないし、城下町もないのでは……」。そう思う人も多いだろう。

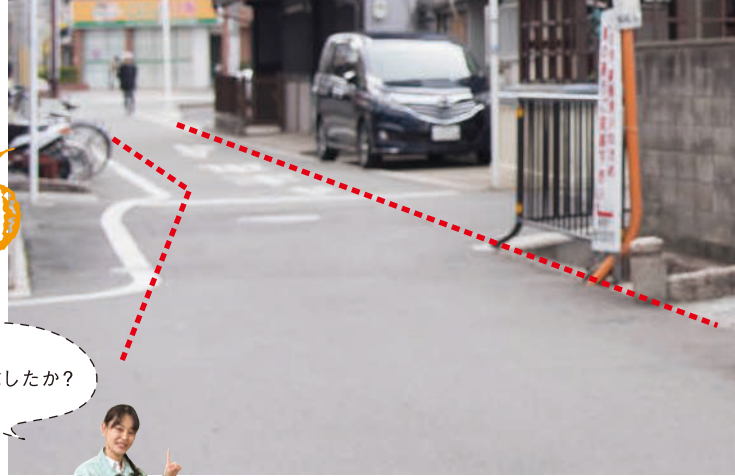
だが歩いてみれば、不思議なかたちの道や段差など、おや？と思う場所に巡り合うはずだ。そんな場所こそ、城下町・高槻の姿をひもとくヒントが隠されている。さっそく今の風景と古地図を見比べながら、城下町の秘密を探るまちあるきに出かけてみよう。

※5ページに江戸時代の高槻城周辺を描いた古地図(絵図)を掲載しています

この高低差はもはや?

[市民会館西側]

野見町にある市民会館の西側。駐車スペースのあたりに高低差がある。そう、ここも堀の跡。三の丸の北西部と外堀との境界だったのだ



知っていましたか?



江戸時代の道幅はどこに?

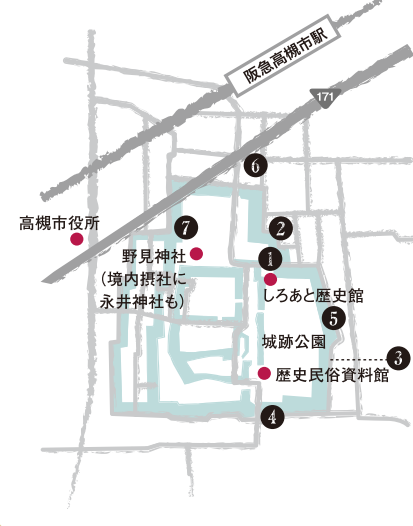
[北大手交差点東側]

国道171号の北大手交差点から東へ続く細い路地は、途中でぐっと広がる。不思議な道幅だが、古地図にも描かれた歴史ある道だ

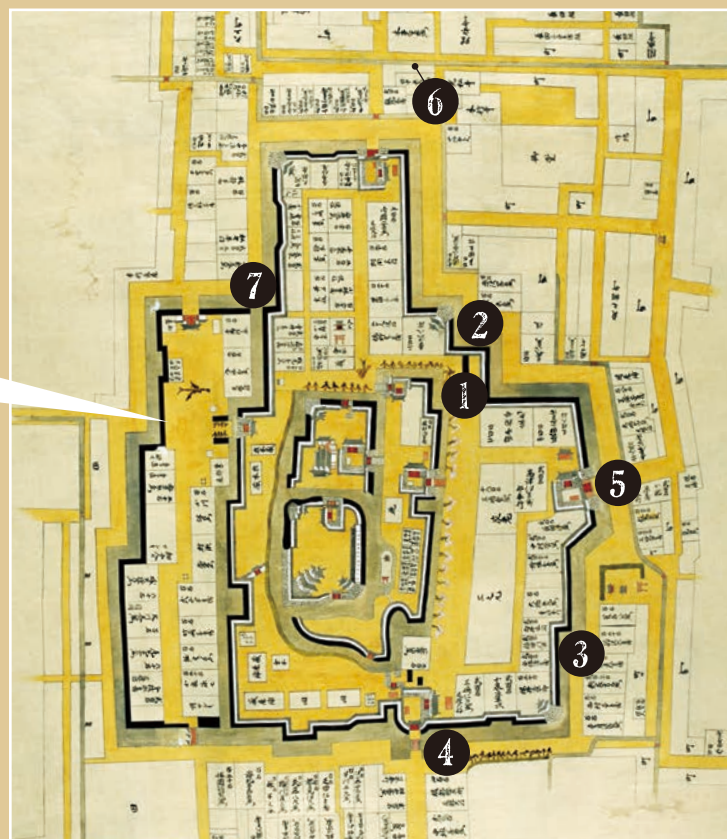


地図を見ながら場所をおさらいしよう!

■ 昔の堀の位置



(現在の地図)



(高槻城絵図(仏日寺本写・しろあと歴史館所蔵))(部分)



他の友達も誘ってまた散歩します!

CHECK!

関連イベント開催決定!
今号の巻頭特集に合わせた連続講座「古地図で探る高槻城下町」を開催します。会場や参加方法など、詳細は33ページにて

ボランティアガイドが館内を案内します!

● 高槻市城内町1番7号
☎ 072-673-3987

城跡エリアの模型もある!

高槻市立
しろあと歴史館

高槻城三の丸跡に建つ博物館。江戸時代の高槻を、実物資料や映像、模型などを通して紹介する。ボランティアガイドによる館内の説明も受けられるので、城下町・高槻の歴史を楽しく、わかりやすく知ることができる。常設展示は無料。

城下町の秘密に

さらに迫る

目の前の道が歴史につながる

歴史散歩のコツがつかめてきたところで、少し気付きにくい痕跡も訪ねてみよう。見過ごしてしまいうような細い路地や坂道にも物語があるのが高槻だ。古地図をたよりに想像を膨らませながら歩くと、いつも何気なく通り過ぎていた道も楽しくなってくる。

はつきりとした名残がない場所では、古地図だけではイメージしにくいことも。そんなときは、城下町の姿をバーチャルに再現するスマートフォンアプリ「AR高槻城」を活用してみよう。江戸時代のまちなみを手軽に体験でき、どこかで侍や町人に出会えそうな気がする。

かつて、このまちで人はどんな景色を見て、どんな音を聞き、どんな話をしていたのだろう。歩きながらそんなことを思っていたら、高槻の歴史がぐっと身近なものに感じられてきた。

5

城門を出現させるには?

[東大手門跡]

城の正門となる東大手門の跡地。今は何も残っていないが、現地でスマートフォンアプリ「AR高槻城」を用いればバーチャルな門が浮かび上がる。どんな佇まいの門が現れるのか、ぜひお試しを



DOWNLOAD

※AR高槻城の概要やダウンロードは左のQRコードから。読み取れない場合は「AR高槻城」と検索



まるでちょっとした時間旅行!



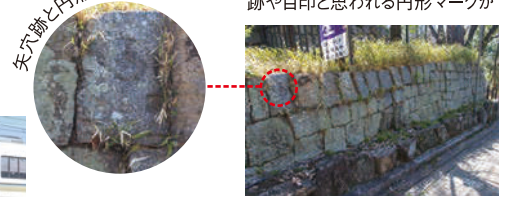
まちあるきをもっとおもしろくなる! /

高槻城と城下町の豆知識



あまり知られていないが上宮天満宮の参道脇の壁も石垣石を転用している。丸で囲った石には矢穴跡や目印と思われる円形マークが

矢穴跡と円形の刻印



シティ・プランナー 永井直清

高山右近が城主だったころから約70年後の慶安2(1649)年、徳川家譜代の大名である59歳の永井直清が城主に。以降、城下町と西国街道を結ぶ八丁松原の整備や、治水工事に力を注ぎ、まちのインフラを整えていく。また、高槻ゆかりの歌人の功績を後代に残すことに貢献。能因法師や伊勢姫の顕彰碑を建立した。高槻の発展を促した立役者の一人である。



八丁松原は城下町から西国街道まで続く松並木で、参勤交代の道だったという。松の合間から見える大名行列は、さぞ人々の目をひいたに違いない



寛政5(1793)年、直清を祭神として建立された永井神社。唐門はその後、入城200年記念として嘉永元(1848)年に設けられた。直清が崇敬を集めていたことがわかる

こんなところにも! 高槻城の再利用

市内のJR京都線沿線で目にするレトロな雲田気の橋脚やガード。これらは、明治時代の鉄道敷設黎明期に、高槻城石垣を再利用したもの。よく見ると、石垣用に石を割ったときの「矢穴」の跡が見つかる石もある。今、高槻城の往時の姿を見ることはかなわないが、城の石垣は今も現役で市民の生活を支えている。



高槻城の石垣が再利用されたJR京都線の橋脚



JR京都線沿線には石垣石を一部利用したトンネルが複数見られる

まちの礎を築いた
高槻城主たち



城跡公園の
右近像

[写真下] 右近はキリシタンとしても有名。城の隣接地ではキリシタン墓地在発掘され、ロザリオなどが出土している



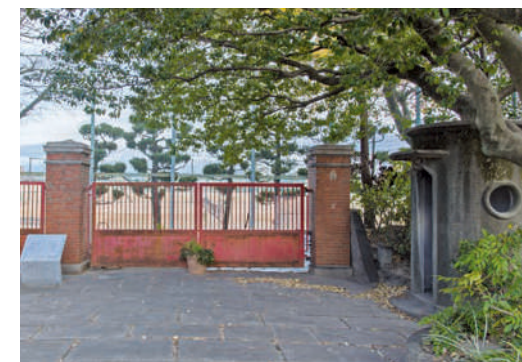
[写真上] 平成31年に見つかった障子堀跡。土手で仕切った堀底を泥で覆い隠し、トラップにしていたようだ

知将、高山右近

高山右近といえば、キリシタン大名や茶の湯に通じた大名として有名だが、城づくりの名手でもあったという。最近の発掘調査でも、障子堀や石垣など、堅固な城を築くために右近が策をこらしていたことを示す遺構が見つかった。信長や秀吉にも認められた武将として城下町も守ろうとしたのだろう。



明治44年発行の高槻の地図(部分)。「工兵營」の文字が見える
※この地図は、国土地理院発行の2万分1地形図を使用したものです。



城跡公園内に保存された元工兵第4聯隊営門。向かって右にはコンクリート造りの見張り所も残る

城跡に残された 平和を願うモニュメント

高槻城跡には、明治42(1909)年から昭和20(1945)年まで旧陸軍工兵第4聯隊が駐屯した。現在の第一中学校から城跡公園にかけて、兵舎や兵器庫、集会所などが建ち並んだ。その兵舎の営門が、悲惨な戦争を決して繰り返さぬよう、平和祈念碑として残されている。

城下町と富田の
町家を
見比べてみよう

富田エリア



石垣を斜めに積んで家を築いているのは、高低差のある富田らしい建築方法である



CHECK!

2階の出隅が丸い家が多いのは「角を丸く」という商人の町・富田ならではの?

軒下を商用に活用するためだろうか。駒寄のない町家をよく目にするのもこのエリアの特徴

城下町エリア



武家屋敷も健在。
城下町・高槻ならではの光景だ



CHECK!

城下町では2階の出隅が角型の家が目立つ

家屋と道の境界に駒寄という馬をつなぎとめる柵のある家が多いのは、馬の往来が多かった城下町の名残だろうか



城下町に残された状態の良い貴重な町家。今でも人の暮らしが営まれている

町家散歩の 楽しみ

城下町には歴史を感じさせる貴重な町家が点在している。やはり町家が多く残る富田地区も歩いて見比べると、それぞれのエリアがたどった歴史の特色が浮かび上がってくるかのようだ。風情のある町家を眺めながら、高槻の歴史に思いを馳せてみるのも粋である。

協力: マチャ・テラス 岩崎卓宏さん

